

グラウンド・ゴルフ発祥の地、湯梨浜町(旧泊村)で大国際大会



かわにしよとさん描く宮脇町長(左)と湯梨浜町コース(右)

今、グラウンド・ゴルフが熱い。昔泊村といわれていた鳥取県の一部に、ルールや道具の規格を整えたグラウンド・ゴルフが誕生したのは1982年。今では健康的なスポーツとして国内愛好者が350万人に達し、湯梨浜町の海を望むコースは発祥の聖地として国際大会も開かれている。

そもそもグラウンド・ゴルフとはなんぞや。ルールはゴルフに似て専用のクラブでテニスボール大の玉を打ち、旗の下のホールポストに入れるまでの打数を競う、というもので、老若男女が楽しめる。3年後のワールドマスターズゲームズ2021関西でグラウンド・ゴルフが種目入りし、発祥地の湯梨浜町で競技が行われる。このため、アジアだけでなくヨーロッパの国々でも関心が高まり、町には問い合わせが相次ぐ。

湯梨浜町では、宮脇町長はじめ町を挙げてこの国際大会を盛大に成功させるべく、未普及の国にクラブを寄付することなどを考えている。この一助として、特定目的のふるさと納税が期待されている。ぜひ、成功させたいものだ。

▼納税募集期間
5月15日～10月31日

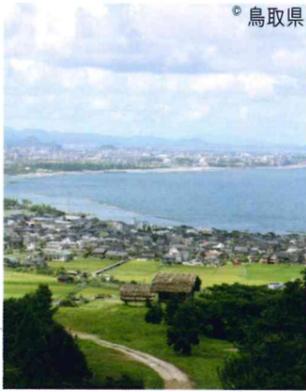
▼目標金額 5百万円

▼詳細は
<https://www.furusato-tax.jp/gcl/302>

期間は10月まで延長



(文・福井宏一郎)



鳥取県 湯梨浜町 望む弓浜半島 むきばんだ遺跡から

源頼光が大江山に酒呑童子の首を切り落とし、た時の刀も安綱作のもので、「童子切安綱」と呼ばれ現在の住む鬼門にあたります。

現在、土砂が流されなくなつたこの150年間で半島はやせ細り現在の姿になりました。人の手でつくられた美しい半島なので

この工人の鬼たちを従属させ鉄と加工技術を奪うために、東北の鬼門とは正反対の南西の角の象徴である「申」・「酉」・「戌」を使い侵略する歴史を自分達に都合よく昔はなすにつくり変えたもののようにです。実際に平安期以降は日本刀の生産地は伯耆地方では廃れ岡山備前地方で大発展を遂げます。日野川の上流鳥取県日野町、日野町で山を切り崩し日野川の清流によつて採集された良質な砂鉄は山を越え備前刀として鍛冶されました。平安末期から明治9年の廃刀令が出されるまで膨大な土砂が日野川に流され弓浜半島を形成していき

鉄と鬼のはなし

陶芸家 伯耆焼窯元 谷野重美



鳥取県西部米子から境港に至る弓浜半島は、それは美しい半島ですが、150年前までは今より100m以上砂浜が広がっていました。山陰とは山の北側とい

う意味ですが、伯耆の国と呼ばれたこの地は大山の北側に位置し世界的に珍しい稀少金属のモリブデンを含有する鉄が産出します。世界屈指の鉄でスペースシャトルのロケットエンジンにはこの鉄が用いられています。

平安時代には安綱という刀鍛冶が現われ伯耆の地で初めて日本刀を完成させました。鳥取県は日本刀発祥の地です。

注力してきました。昔の人は鉄の加工技術を持っている人達を特別視し「鬼」と呼んでいました。現在の認識とはちよつと違ふんですね。

在は国宝に指定されて東京国立博物館に収蔵されています。天下五剣と云われ伝説的な名刀です。

昔から鉄を制する者が天下を制すといわれ世の中を奪取しようとする者は常に鉄とその加工技術を手中に収めることに

この工人の鬼たちを従属させ鉄と加工技術を奪うために、東北の鬼門とは正反対の南西の角の象徴である「申」・「酉」・「戌」を使い侵略する歴史を自分達に都合よく昔はなすにつくり変えたもののようにです。実際に平安期以降は日本刀の生産地は伯耆地方では廃れ岡山備前地方で大発展を遂げます。日野川の上流鳥取県日野町、日野町で山を切り崩し日野川の清流によつて採集された良質な砂鉄は山を越え備前刀として鍛冶されました。平安末期から明治9年の廃刀令が出されるまで膨大な土砂が日野川に流され弓浜半島を形成していき

イタリアーノ・ヴィーノ・エサチ

県人のお店

高い技術と良い素材がおいしさの秘訣

西武池袋線の桜台駅を降りて徒歩2分、商店街の一角に『イタリアーノ・ヴィーノ・エサチ』はある。4年前にオープンした。

イタリアのミラノにある三ツ星レストランで3年間修業を積んだオーナーシェフの平山勇さん(40歳)は、以前新橋にあった鳥取県アンテナショップの2階で、鳥取の食材を使ったイタリアンレストラン『トットリーネ』で腕ふるっていたシェフだ。

まずは、「パスタランチ」(サラダとパスタ、コーヒーor紅茶のセット。¥1200)を注文した。出てきたサラダを注文した。出てきたサラダのボリュームにびっくり。旬の夏野菜がたっぷり10種類はある。まるでビタミンの宝庫だ。どれもパリッとした歯ごたえで、今、裏の畑で採ってきたばかりという感じのみずみずしさが口にひろがる。20世紀製の梨酢を使ったドレッシングもすっきり爽やかで夏を感じる。メインのパスタは2種類から選べる。この日は、ズッキーニやオクラなど夏野菜をふんだんに使ったスパゲティである。いすくと大山どりのトマト煮込みスパゲティ。どちらも素材のうまさ上手に引き出した絶品だ。

食べ終わった後、身体の中がきれいになった!という爽快感を覚えた。きつと、鮮度抜群の素材効果で、細胞が活性化したのだろう。

「食材はすべて無農薬有機栽培のもの産地から取り寄せています。鳥取の野菜は関東のものとは一味違うというものが僕の印象。無農薬というだけでなく、土壌が違うからだと思います」(平山さん)。

夜のディナーにはブランドの鳥取和牛「万葉牛」と「鳥取地鶏ピヨ」を目当てに訪れる客が多い。味を知ってファンが増えている。備長炭を使う炭火焼きがおすすめだ。

イタリアワインは約100種類の品ぞろえ。ソムリエの奥様・幸子さん(37歳)のアドバイスで、料理に合うワインが選べるのも嬉しい。

ランチは¥1200、ディナーは¥1900の2種類。ディナーは¥4200。1階は11席、2階は15席。ランチは17:00オープン。■定休日/火曜日。上写真は平山ご夫妻(文/加藤雅子 写真/遠藤隆司)



金田ちかこ

イラスト/かわにしよと

バー)のプロデュース・デザイン・桶川容子(おかげがわようこ)さん。(写真左上)子供の頃から絵を描くのが好きでマシヨンのちらしに間取りを描き遊んでいたという。

鳥取西高校から京都府立大で環境デザインを学び、筑波大学大学院 人間総合科学研究科へ。

在学中に憧れの建築家ミルラン・ラデックが拠点を置く南米で、さらに広く建築について学びたいとチリカトリック大学へ。

お客様の自分が着たいと思うイメージを聴くなど対話も大切にしている。

花嫁の衣装の種類は多いが、花婿の衣装の数が少なくデザインの種類もあまりないのが現状、その声に応えたいとウェディングの当日だけでなくその後も活用できる花婿のドレスが桶川さんのデザインによって叶えられた。

(文・写真/金田ちかこ)



今回ご紹介するのは、鳥取市で育ったというさわやかな女性建築家であり、オーダーメイドスーツ「SUITBAR」(スーツ)

からウェディングプランナーへ。

さらには、お笑い芸人さんの舞台衣装、鳥取県出身のピアニストの方の衣装スカートなどもデザインしてきた。

建築家とファッションデザイナーを兼業で器用にこなすタレント性が凄い。

お店は、代官山駅から徒歩1分(渋谷区代官山町19-10)

今後は建築家として故郷の地に子供達が自由に出入りできる安らげる場所、図書館や児童館のようなワクワク楽しめる場所を造りたいと語る桶川さんでした。

入会募集中

鳥取県を楽しむ特典満載!

ふるさと鳥取ファンクラブ

情報誌『とっとりNOW』を無料でお届けします。

【会費】2年間2,000円

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1-220(鳥取県庁内) TEL 0857-26-8374

株式会社 内藤音楽事務所

Naoto Musical Enterprises

代表取締役 藤井田多恵子

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-16-36
TEL03-3200-3501/FAX03-3200-3704
E-MAIL:info@naito-m-e.co.jp
URL:http://www.naito-m-e.co.jp/

リンガーハットグループは昭和37年、長崎市鍛冶屋町の「とんかつ浜かつ」の開業に始まります。その後、長崎ちゃんぽんを看板にリンガーハットの店舗展開を始めて、創業より55年が経ちました。今では海外へも進出し、グループ合わせて780店余を展開しています。

株式会社リンガーハット

代表取締役会長兼 CEO 米瀨和英 (鳥取市出身)

〒141-0032 東京都品川区大崎1-6-1 TOC 大崎ビル14F
TEL 03-5745-8611 FAX 03-5745-8622

国産野菜たっぷり「野菜たっぷりちゃんぽん」

地方創生ばなし「その9」

「鳥取大学発・世界最先端技術(染色体工学)」を
基盤とした新産業創出に向けて

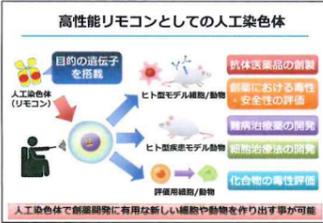
クラブ・セブンティ 倉島君夫



2018年4月に、文部科学省が支援して、「とっとり創薬実証センター」誕生/押村光雄先生「紹介」

先生は本学において、画期的な「染色体工学」を創始され、2009年に「染色体工学センター」を設立し、センター長に就任されました。鳥取県は本研究の重要性を考慮し、2011年に、産官学連携研究拠点「とっとりバイオフロントティア」を設立して、研究を支援して来ましたが、民間の県西部経済人による「鳥取バイオサイエンス振興会」の篤志基金による研究支援は特筆に値するものです。現在、とっとりバイオフロントティア内には、学内及び県外から参画したベンチャー企業4社が稼働して、55名の関係者が勤務しています。

押村光雄先生は1948年、境港市生まれ、境高等学校、島根大学を卒業されたのち、北海道大学理学部において動物染色体を研究、理学博士とされました。その後、ニューヨーク州立ロズウェルパーク癌研究所、東京医科歯科大学難治疾患研究所、米国環境保健科学研究所、神奈川県立がんセンター臨床研究所で研鑽を積まれました。



特に、近年は、遺伝子情報を活用した医薬品の開発が活発化しています。「染色体工学」技術は、この遺伝子情報をマウスやラット等の細胞に運び込む運搬体(担体)を人工的に作り上げる技術です。押村先生によって発明された、この技術は世界最先端のものであり、他に追随を許しません。

者は確信しています。当地の行政と市民は一体となって力強い応援を推進したいものです。

現在、先生は鳥取大学名誉教授、染色体工学センター特任教授、(株)Trans Chromosomics 代表取締役社長を兼務されています。また、主な賞として、1993年高松宮妃癌研究学術賞、1998年日経BP医療・バイオ部門技術賞、2002年人類遺伝学会学術賞、2009年鳥取大学功労賞を受賞されています。

人工染色体の最も得意とするところは、これまでの遺伝子担体で運ぶことができなかった巨大な遺伝子を、動物の細胞へ運ぶことです。特に抗体遺伝子がその良い例です。ヒトの抗体遺伝子をこの人工染色体に搭載してマウスの細胞に運び込む(導入)ことによって、マウスにヒトの抗体を作ってもらうわけです。

このマウスが作り出したヒト抗体を精製・反応処理して大量に産生し、医薬品にまで仕上げ、がんなどの難病の治療に使います。その他、アルツハイマー病やアレルギー治療にも役立つと期待されています。特に、抗体医薬はこれまでの医薬品とは異なり、開発のための成功率が高く、毒性も低く安全性が高いというところで、近年の医薬品の中心となりつつあります。

このように、当地に世界最先端の高度生命科学を軸にした一大産業集積を生み出すという本計画は、百年に一度もない貴重な機会であると、寄稿

漫画「星取りクンは考える」 by かわにしよと. Illustration of a man looking at stars with a speech bubble saying 'もう少し高いところのほうか...'

随想リレー. Article by 柏木雅浩 (Kashiwa Masahiro) about his experiences and reflections on the film industry.

「パイロットのルーチン」. Article by 上山信一 (Ueyama Nobuichi) about the routines of pilots, including a mention of JAL's Boeing 787.

鳥取県から演歌歌手 朝花美穂(19歳)がデビュー. Article about the debut of Asahikane Misuzu, a young singer from Tottori Prefecture.

全国異業種協同組合連合会協同組合情報サービス. Advertisement for a nationwide association of diverse industries.

編集後記. Editor's note or afterword section.

株式会社チュウワ. Advertisement for Chuwawa Co., Ltd., featuring representative director 大田 英二 (Ohtani Eiji).

特別栽培米 「万葉美人」. Advertisement for 'Manyo no Onna' special cultivation rice, highlighting its quality and origin.